

経営対策 要求実現は民商へ

兵庫県商工新聞

編集 兵商連新聞編集委員会
発行 兵庫県商工団体連合会
〒652-0811 神戸市兵庫区新開地4-4-12
☎ (078) 341-0563(代)
FAX (078) 341-0885
http://www.hyoshoren.co.jp/
Email: info@hyoshoren.co.jp

2018年5月
第309号

確定申告が終わり、就学援助申請や国保料(税)の減免申請など、各民商には、さまざまな要求が寄せられています。また、「経営を伸ばしたい」「異業種で交流したい」との要求も高まっています。各地の取り組みを紹介します。

「入学準備金」3月支給

助かったの声も「兵庫民商婦人部」

就学援助制度は、「義務教育は無償」として定めている憲法26条と教育基本法にもとづいて、小・中学生のいる家庭に、入学準備金・学用品・給食費・修学旅行費などが助成される制度です。神戸市内では、「子どもがいじ



めなど、いやな思いをせず、申請できるように」と、生活と健康を守る会、新日本婦人の会、民商が一緒になって、1973年から教育委員会への直接申請を行っています。兵庫民商婦人部では4月5・6日と就学援助申請会を行いました。

「直接申請をするこ

とによって周りを気にせず、安心して就学援助を受けることができ

助申請会を行いました。2日間で8人の婦人部員が受付を行い、昨年よりも多い50人の申請がありました。

昨年までは学校で申請していた会員や、制度を利用していなかった会員も、事務局からの声かけや、申請会の案内を見て、参加も多くなりました。

「直接申請をするこ

とによって周りを気にせず、安心して就学援助を受けることができ

助申請会を行いました。2日間で8人の婦人部員が受付を行い、昨年よりも多い50人の申請がありました。

国保料の減免申請に行きました

【明石民商】

明石民商は、3月23日に国保料の減免申請を行いました。まず、国保制度や減免規定を学習し、市役所に移動、減免を申請しました。

学習会は濱本亮事務局長が昨年について説明を行いました。国保法第1条は国保事業が社会保障であることが明記され、44条には一部負担金(窓口負担)の減免制度もあ

り、これらは憲法25条が生きていると説明しました。ところが国の支出金が大幅に下がり、1人当たりの保険料が2倍以上になっ

て、払いきれない保険料になっていると「高すぎる秘密」を明かしました。

濱本次長は「今年4月から国保が都道府県化になり、資産割はなくなりませんが、全体と

らに郵送となりまして。また、早ければ、来年から申請も教育委員会へ直接郵送することが可能となるなど、父母の声と運動が少しずつ制度を動かしています。

(兵庫・北村通信員)

して保険料が上がると思われる事、支払回数が増え、現在の10回から9回に減り、その分毎月の支払額が増え、国保の滞納が今までの以上に増えるのではないかと思う」と話をすると、「ほんま？」と不安の声が上がりました。

ただ参加者のなかには、家族にアルバイト等の収入ある人は源泉徴収票を提示するか確定申告が必要とされ、後日に出すというケースもありました。Aさんは「売上を伸ばして、減免に頼らんでいいように頑張るわ」と言っていました。

(明石・芝本通信員)

視点をかえて仕事確保を

「兵青協経営力アップ交流会」



4月15日、第16回目となる兵青協経営力アップ交流会が21人の参加で開かれました。

パネリストは、灘民商「あらき塾」の荒木直人さん、兵庫民商の「ソルフル」(電気工

事)の星加英樹さん。荒木さんからは、独立に至った経緯や開塾してから「人が来ない」などの苦労が語られました。民商に入り「SWOT分析をした

小業者ならではの工夫を話してくれました。星加さんはエアコンクリーニングなどの営業に、マッチングサイトなどを活用している

ことを紹介。訪問した際にちょっとしたサービ

「儲かりまっか?」と言われ、「まーまーでんな」とにんまり笑う関西の売人独特のあいさつが、消費税率の頃から徐々に消えてきたような気がする。今年の確定申告で、ある飲食店は約65万円の消費税額が出た。2ヵ月分の生活費である。いい商品ができるだけ安く頑張るこの店長は、奥さんに電話して、「これだけ税金払わなアカンようになった」と許しを請い、金の工面に思い悩む。消費税率だという。その滞納者の何十倍という人が、こういった苦悩を跳ね返し商売を頑張っているのだろう

止しよう。(Y)



「戦争する国づくり」と一体となった『えん罪』と「弾圧」許さない」と「倉敷民商弾圧事件・無罪を勝ちとる兵庫の会」は4月18日、第4回総会を開き144人が参加しました。

同事件は、広島国税局が倉敷民商会員の法人税法違反を口実に、事件とは関係のない3

中小業者の実情は困難を抱えながらも、商売の発展にむけて多様な努力を続けていると実感しています。法人成りしたり、建設業許可を取得したり、融資の申し込みで資金を確保しさらに仕事を受注したり、さまざまです。多様な要求に向き合い、頼りにされる民商の値打ちは、仲間増やしに大いに役立っていると思えます。悩みを抱える業者の相談に、親身に寄り添い、共に商売を発展させよう



「8億円の値引き」など、税金を無駄に使用し、「戦争をする国づくり」、「世界で一番大企業が活躍できる国づくり」へ暴走する安倍政権を退陣させるため、役員先頭に一人でも多くの商工新聞読者と仲間を増やしたい。全商連第53回総会に集う仲間と団結し、たかう狼煙を上げよう。その先頭に立ち、がんばります。

平和と憲法を守ろう

無罪を勝ちとるまで全力を

人の事務局長を法人税法違反、税理士法違反で逮捕・起訴した権力による弾圧です。

現在、最高裁と岡山地裁でたたかわれています。

1月の控訴審で、広島高裁岡山支部は「二審判決破棄、差戻し」と判決。これまで3回の不当判決に対し、全国の支援を受けたたかかが実現したものです。

弁護団の則武透弁護士は「差戻し審となり延長戦となった裁判に勝利するために、これ

確定申告作成班会では、多くの会員が所得を減らし、消費税や国保料、社会保険料の支払いが困難になっている実態が見られました。その上、来年の10月に消費税が10%に上げられ

増税中止・改憲阻止

全商連・全商連共済会 連続総会の成功を

5月26～28日 新潟市開催



改憲・増税阻止！ 共同の時代ひらく 強く大きな民商・全商連を

全商連 第53回定期総会 ANAクラウンプラザホテル新潟 2018年5月26日(土) 13:00～

全商連共済会 第25回定期総会 ANAクラウンプラザホテル新潟 2018年5月28日(月) 9:00～

この1年、神戸北民商は会員現勢を増やすことができませんでした。この勢いを全商連総会にむけて、さらに広げたいと決意しています。

「神戸北民商」(内装工事)

伊東久雄さん

この1年、神戸北民商は会員現勢を増やすことができませんでした。この勢いを全商連総会にむけて、さらに広げたいと決意しています。

「神戸北民商」(内装工事)

伊東久雄さん

「8億円の値引き」など、税金を無駄に使用し、「戦争をする国づくり」、「世界で一番大企業が活躍できる国づくり」へ暴走する安倍政権を退陣させるため、役員先頭に一人でも多くの商工新聞読者と仲間を増やしたい。全商連第53回総会に集う仲間と団結し、たかう狼煙を上げよう。その先頭に立ち、がんばります。

確定申告作成班会では、多くの会員が所得を減らし、消費税や国保料、社会保険料の支払いが困難になっている実態が見られました。その上、来年の10月に消費税が10%に上げられ

確定申告作成班会では、多くの会員が所得を減らし、消費税や国保料、社会保険料の支払いが困難になっている実態が見られました。その上、来年の10月に消費税が10%に上げられ

森友疑惑徹底究明 4・1業者婦人 怒りの宣伝



消費税が導入され29年となった4月1日、神戸・元町大丸前で、兵商連婦人部協議会は、「消費税増税中止！怒りの宣伝」を行いました。

45人の参加者は、お揃いのピンクのジャンパーを着て、「真相究明」「内閣総辞職を」のプラスターを掲げ、通行人にアピール。1分間スピーチでは、「私は憲法改悪を許しません！」「税金の使い方を変えて増税をストップさせましょう」と20人以上が訴えました。「楽しかった！またやろう」と参加者の感想も。元気が出た行動になりました。

今年3月に1度、固定資産税の評価額を見直す基準年度にあたり、住宅用地は特例により評価額が最大6分の1に減額、共用私道は一定の条件を満たせば非課税に。土地・家屋の価格に不服がある場合、通知から3か月まで「審査の申出」ができます。相談は民商へ。

ば、多くの民商会員は商売をやめざるを得ないおそれがあります。春の運動では、会員の入会が例年の半分程度に終わりました。若い業者がインターネットなどで申告をすませるといった影響もあると思えますが、それだけでなく民商の優位性が十分に宣じられて

今総会では、困難な情勢の中でも、この民商の優位性を生かして持続拡大している組織の経験をたくさん聞き、尼崎民商の組織拡大に連動させていきたいと考えます。社会の大きな変化を確信に、



今年3月に1度、固定資産税の評価額を見直す基準年度にあたり、住宅用地は特例により評価額が最大6分の1に減額、共用私道は一定の条件を満たせば非課税に。土地・家屋の価格に不服がある場合、通知から3か月まで「審査の申出」ができます。相談は民商へ。

以前大阪で家事代行の会社のコーディネーターをしていたが、神戸に戻ることになり、「自分でやろう」と3年前、独立・開業しました。開業するにあたっては、兵庫県の『ふるさと企業支援事業』の助成金を受け、スタッフ募集も苦労しながらおこない、事業を立ち上げました。



マザープラスを利用してくれるお客さまは、子育て中の共働きの世帯の方の利用が多いのとなり、「自分でやろう」と3年前、独立・開業しました。開業するにあたっては、兵庫県の『ふるさと企業支援事業』の助成金を受け、スタッフ募集も苦労しながらおこない、事業を立ち上げました。

そのためには、スタッフとコミュニケーションをとり、働きやすい職場になればと日々努力中です。ゆくりとしたペースですが確実に成長し地域に貢献できる会社をめざしています。ただいまスタッフも募集中。お掃除が好きな人、空いた時間で一緒に働きませんか。

家事代行 マザープラス
658-0045
神戸市東灘区 御影石町4丁目6-5
0120-56-0310
info@mother-plus.com

私の商売ものがたり

NO.184 高田 奈都子さん (家事代行) 東灘民商

経営情報

家事代行 マザープラス
658-0045
神戸市東灘区 御影石町4丁目6-5
0120-56-0310
info@mother-plus.com